

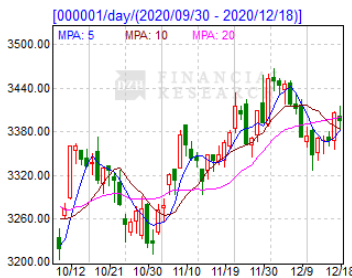


【指数日足チャート】

▼ハンセン指数



▼上海総合指数



【主要株価指数】

	週末終値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	19年末株価
NYダウ	30,179.05	-124.32	-0.41	0.44	5.75	28,538.44
NASDAQ	12,755.64	-9.11	-0.07	3.05	42.16	8,972.60
日経225	26,763.39	-43.28	-0.16	0.42	13.13	23,656.62
上海総合	3,394.90	-9.98	-0.29	1.43	11.30	3,050.12
滬深300 (CSI300)	4,999.97	-17.51	-0.35	2.26	22.05	4,096.58
ハンセン	26,498.60	-179.78	-0.67	-0.03	-6.00	28,189.75
中国企業	10,483.34	-62.39	-0.59	0.30	-6.13	11,168.06

【株式概況】

先週の動き:ハンセン指数は0.03%安と小幅に3週続落、上海総合指数は1.4%高

香港市場ではハンセン指数が週間で0.03%安と小幅に3週続落した。世界各地で新型コロナウイルスの感染拡大に歯止めがかからない中、経済活動の低迷に対する懸念とワクチン開発への期待が交錯。米国の追加経済対策や緩和的金融政策の長期化期待を受けて16-17日は続伸したが、18日は反落した。本土市場では上海総合指数が週間で1.4%高と反発。来年の経済運営の基本方針を決める中央経済工作会議の開催を控えて政策期待が高まったほか、中国企業による新型コロナワクチンの開発進展が相場の追い風となった。

今週の展望:香港市場は一進一退の展開か、クリスマスで24日後場から休場

香港市場は一進一退の展開か。好調なNY市場や米国の追加経済対策への期待は支援材料となりそうだが、米トランプ政権が対中強硬策を連発していることで米中関係のさらなる悪化が警戒されそう。新型コロナを巡っては世界で感染拡大が続く一方、ワクチン普及による経済正常化への期待も高まっている。24日の後場からのクリスマス休暇入りを前に手控えムードが広がる可能性もある。本土市場はしっかりの展開か。米中対立の激化は懸念材料だが、中国政府による政策期待が引き続き支援材料となりそう。

先週のハンセン騰落ランキング

▼騰落率上位

	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 中国生物製薬 (01177)	7.81	16.05
2 石薬集団 (01093)	7.84	9.50
3 舜宇光学科技 (02382)	155.40	7.32
4 薬明生物技術 (02269)	87.45	7.30
5 チャイナ・コム (00762)	4.56	5.31
6 吉利汽車 (00175)	23.05	4.77
7 恒安国際集団 (01044)	55.50	4.72
8 小米集団 (01810)	28.80	4.54
9 CNOOC (00883)	7.25	4.32
10 瑞声科技 (02018)	42.80	3.88

▼騰落率下位

	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 長江実業地産 (01113)	40.40	-6.59
2 銀河娛樂 (00027)	57.80	-5.79
3 美团 (03690)	278.40	-5.24
4 安踏体育用品 (02020)	105.10	-4.11
5 中国工商银行 (01398)	4.60	-3.77
6 バドワイザーAPAC (01876)	25.80	-3.73
7 新鴻基地産 (00016)	102.50	-2.66
8 中国銀行 (03988)	2.59	-2.63
9 ハンセン銀行 (00011)	134.50	-2.25
10 長江和記実業 (00001)	54.45	-2.24

▼今週の主なイベント

- 12月24日(木) 【香港】クリスマスライブで半日立ち会い
- 12月25日(金) 【香港】クリスマスで休場
- 【米国】クリスマスで休場

▼今週の期待材料

- ◆16-18日に来年の経済運営の基本方針を決める中央経済工作会議を開催、政策発表への期待が続く公算
- ◆新型コロナワクチンの開発進展期待高まる、中国企業が開発する5種類のワクチンが臨床試験第3フェーズに
- ◆米議会で新型コロナ感染拡大に伴う追加経済対策が進展、与野党が900億米ドル規模の追加対策で合意へ

▼今週の懸念材料

- ◆中国政府が巨大ネット企業への管理を強化、独占禁止と資本の無秩序な拡大の防止を強化する方針打ち出す
- ◆米商務省がSMICなど77の団体・個人を制裁リストに追加、米中対立が一段と激化する公算
- ◆人民解放軍と関係の深い中国企業をグローバル指数から外す動きが加速、MSCIは来年1月5日で除外

【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ 香港証券取引所 (00388) : 米外国企業説明責任法が成立、香港への上場が増える公算
- ☆ テンセント (00700) : 米ユニバーサル・ミュージック株10%を追加取得
- ☆ チャイナ・モバイル (00941) : 11月の5G加入数は1859万件の純増、10月から加速
- ☆ 中国神華能源 (01088) : 火力発電用の石炭需給がひっ迫、石炭価格の上昇で恩恵
- ☆ BYD (01211) : 日本市場向け量産型大型電気バスを販売、21年1月から納車を開始
- ☆ 京東健康 (06618) : 22日付で中国企業指数やハンセンテク指数などに採用
- ★ HSBC (00005) : ロンドンで再び都市封鎖、新型コロナ変異種の感染が拡大
- ★ 浙江高速道路 (00576) : 傘下の浙商証券が7-11月に1.25億元の減損損失を計上
- ★ SMIC (00981) : 米商務省が制裁リストに追加、今後の先端技術開発に影響
- ★ 国薬控股 (01099) : 米商務省が子会社の中国科学器材を制裁リストに追加

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります。また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。